◆県民だより・佐渡地域版「はばたき」　平成14年3月1日発行

はばたき

HABATAKI

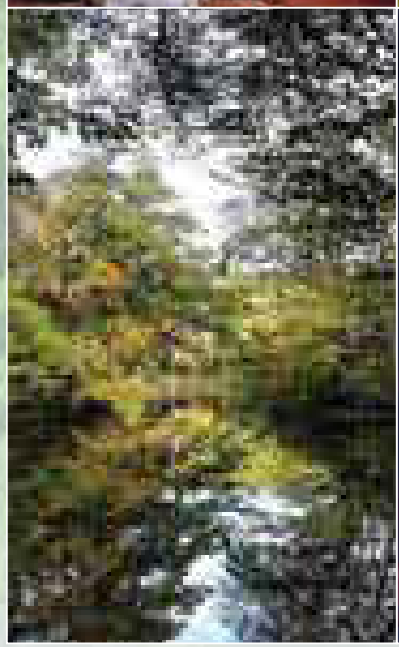
新潟県
vol.8
2002 Mar

特集　これからの佐渡のために…

佐渡地域振興局と地域振興計画

▼片野尾歌舞伎

▼新穂村清水寺



▲両津市杉池（ひょうたん池）

撮影　迫水　正一

▲鼓童

INDEX（目次）

1 これからの佐渡のために…
　佐渡地域振興局と佐渡地域振興計画
2 ちょっと一息　佐渡のイチゴはうまいっちゃ!
3 さあ、お花見の季節です！
4 パスポート豆知識
5 読者アンケートに寄せられた
　ご意見を紹介します
6 おしらせ

佐渡は長い歴史と伝統文化の息づく自然豊かな島です。

しかし現在の佐渡には、いくつかの厳しい問題もあります。若者が島をでていく現実。65歳以上の高齢者が県内でもとびぬけて多く、その方々によって支えられている佐渡の農林水産業。ここ9年間観光客入込数が減少し続けているという現状……。

このような中、これまでの「はばたき」で紹介してきましたように、佐渡には新たな価値観を見いだし島外から移ってこられた方や、地域の宝を活かしつつ自分が輝くための活動をされている方々がたくさんおります。

驚くべきことに、佐渡は県内で唯一県外からの転入者が県外への転出者を上回っている地域なのです。（県統計資料「図説にいがた」H12データより）

佐渡の将来を考えて…。

県では、多様なニーズに対応できるように佐渡地域振興局を設置し、横の連携を強めるとともに、地域振興計画など地域からの声を活かした政策形成や地域経営を進めていきます。